

国際芸術祭「あいち 2025」巡回展示「ポップ・アップ！」を開催！ ～KURUTO おおぶで開催を祝う特別メニューを提供します～

大府市は、市制 55 周年記念事業として、国際芸術祭「あいち」組織委員会と共催により、大府市歴史民俗資料館と大府市役所にて、11月7日（金）から11月9日（日）まで、国際芸術祭「あいち 2025」巡回展示「ポップ・アップ！」を開催します。

巡回展示「ポップ・アップ！」とは、3年に1回開催している国内最大規模の国際芸術祭の一つである国際芸術祭「あいち 2025」に参加する 14 組のアーティストが、県内 4 つの市町を巡回する移動型の展覧会で、「あいち 2025」では、大府市の他、豊田市・設楽町・豊川市で開催されます。大府市では、作品展示の他に、札本彩子さん（立体造形）によるワークショップや学芸スタッフによるガイドツアーを実施します。

また、開催期間中には、アートイベント「アートオブリスト 2025」の開催や、KURUTO おおぶで「あいち 2025」のテーマ「灰と薔薇のあいまに」からインスピレーションを得た、特製ティラミス「ザクロと炭の香り」の提供などを実施し、大府から「あいち 2025」を盛り上げます。

■大府市での国際芸術祭「あいち 2025」巡回展示「ポップ・アップ！」の概要

「あいち 2025」に参加する 60 組を超えるアーティストのうち、14 組のアーティストが、本展とは異なる作品を主に展示する予定です。アート初心者でも気軽に楽しめるプログラムとして、ワークショップや学芸スタッフによるガイドツアーを行います。漫画家・五十嵐大介さんによる「あいち 2025」のキービジュアルの原画も展示します。

期間・会場／2025年11月7日（金）～11月9日（日）

大府市歴史民俗資料館 （大府市桃山町 5-180-1）	午前 9 時 00 分～午後 6 時 00 分 ※最終入場は、午後 5 時 30 分まで
大府市役所 （大府市中央町 5-70）	平日：午前 7 時 30 分～午後 9 時 00 分 土日：午前 8 時 00 分～午後 9 時 00 分

アーティスト／浅野友理子、プリヤギータ・ディア、札本彩子、カマラ・イブラヒム・イシャグ、加藤泉、是恒さくら、久保寛子、大小島真木、セルマ&ソフィアン・ウィスイ、panpanya、シルビア・リバス、西條茜、佐々木類、ロバート・ザオ・レンフイ、五十嵐大介（特別出品）※敬称略

料金／入場無料

※初日の 11 月 7 日（金）は、学芸スタッフによるプレスツアーを実施します。
詳細は、後日ご案内します。

● 札本彩子によるワークショップ ステーキの付け合わせを考えよう！【参加無料】

日時／2025年11月8日（土） 午後1時00分～4時00分（所要時間30分/人）

会場／大府市歴史民俗資料館 2階会議室

対象／一般（小学生以下は可能な限り、保護者同伴）

講師／札本彩子（フダモト アヤコ、1991年山口県宇部市生まれ、立体造形）

内容／ステーキのように見えるコンクリート片を使った札本の作品、《ステーキ岩》。

付け合わせとなる食べ物を日用品からヒントを得て粘土でそっくりに仕上げます。

定員／なし（材料がなくなり次第終了）

申込／当日直接会場へ。

● 学芸スタッフによるガイドツアー【参加無料】

日時／2025年11月8日（土） ①午前11時00分～11時30分

②午後4時00分～4時30分

※各回開始時間までに大府市歴史民俗資料館 1階ロビーに集合

会場／大府市歴史民俗資料館

対象／一般

内容／「あいち 2025」の学芸スタッフが展示作品を分かりやすく解説します。

申込／当日直接会場へ。

■ これまでの大府市と国際芸術祭「あいち」の関わり

- ・ 2016年度に大府市勤労文化会館で、今回と同内容の事業を実施（2016年9月9日～9月11日）
- ・ 2020年度に市制50周年を記念し、現代美術地域展開事業「境界のかたち 現代美術 in 大府」を、アローブで実施（2021年1月23日～2月14日）

■ 国際芸術祭「あいち 2025」の概要

テーマ／灰と薔薇のあいまに

期間／9月13日（土）～11月30日（日）〔79日間〕

場所／愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなか

芸術監督／フル・アル・カシミ（シャルジャ美術財団理事長兼ディレクター／国際ビエンナーレ協会（IBA）会長）

内容／国内外60組を超えるアーティストによる、現代美術作品の展示や、演劇・ダンスなどのパフォーミングアーツ公演、ラーニング・プログラムなどを展開します。

主催／国際芸術祭「あいち 2025」組織委員会

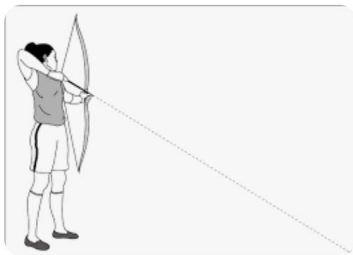
■「アートオブリスト 2025」の概要

●アートオブリスト 2025 ワタナベエイジ展「Morning Monsters/W Eiji」

期間／11月1日（土）～12月7日（日）

場所／大倉公園休憩棟・管理棟・庭園など（大府市桃山町 5-74）

内容／美術館のない大府市で、美術の可能性をまちなかに探るアートイベント「アートオブリスト」。10周年となる今年は、このプロジェクトの産みの親、アーティスト渡辺英司が同姓同名のサイエンティスト（錯視研究者）渡辺英治との偶然の出会いを契機に展覧します（当事業は国際芸術祭「あいち 2025」連携企画プログラム※にも選定されています）。



※国際芸術祭「あいち 2025」連携企画プログラム：「あいち 2025」の会期中に開催する、国際芸術祭のテーマや企画等と連携した内容のプログラムを、組織委員会が「連携企画プログラム」として位置付け、相互広報を積極的に展開するもの。

主催／大府市、アートオブリスト 2025 実行委員会

●KURUTO おおぶ特別メニュー KURUTO の特製ティラミス ザクロと炭の香り

KURUTO おおぶが、国際芸術祭「あいち 2025」にちなんだ特別メニューを、巡回展示「ポップ・アップ！」開催期間を含む「アートオブリスト 2025」開催期間中に提供します！

一杯出しの、焙煎竹炭コーヒーとのセットメニューの他、スイーツのみでテイクアウトも行います。国際芸術祭「あいち 2025」のテーマ「灰と薔薇のあいまに」からインスピレーションを得た、美しくおいしいスイーツをおもてなしします。



※KURUTO おおぶは、国際芸術祭「あいち 2025」の「おもてなし店舗」に選定されています。

■参考資料 国際芸術祭「あいち 2025」巡回展示「ポップ・アップ！」チラシ 国際芸術祭「あいち 2025」プレスリリース冊子

【問い合わせ先】

大府市文化交流課 担当：足立由紀（アダチ ユキ）

電話：0562-45-6266 FAX：0562-47-7320 メール：bunka@city.obu.lg.jp

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局（愛知県国際芸術祭推進室広報グループ）

担当：樋口大樹（ヒグチ ダイキ）

電話：052-971-6182 FAX：052-971-6115 メール：press@aichitriennale.jp



国際芸術祭あいち2025
灰と薔薇のあいまい
Aichi Triennale 2025:
A Time Between Ashes and Roses



国際芸術祭 あいち2025 巡回展示

あなたのまちに、芸術祭がやってくる

豊田市

2025.10.24 (金) - 10.26 (日)
豊田市民芸館

設楽町

10.31 (金) - 11.3 (月・祝)
旧設楽町立田峯小学校

大府市

11.7 (金) - 11.9 (日)
大府市歴史民俗資料館
大府市役所

豊川市

11.14 (金) - 11.24 (月・振替休日)
豊川市桜ヶ丘ミュージアム

[入場無料 / Admission Free]

「ポップ・アップ!」公式Webサイト
<https://aichitriennale.jp/popup/>



[お問合せ先] 国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局
〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター内
Tel: 052-971-0622 Fax: 052-971-6115 E-mail: triennale@pref.aichi.lg.jp

主催 | 国際芸術祭「あいち」組織委員会、豊田市、設楽町、大府市、豊川市
助成 | 令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業、一般財団法人地域創造、(公社)企業メセナ協議会

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



参加アーティスト Artists

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| (a) 浅野友理子 | (a) Asano Yuriko |
| (b) プリヤギータ・ディア | (b) Priyageetha Dia |
| (c) 札本彩子 | (c) Fudamoto Ayako |
| (d) カマラ・イブラヒム・イシャグ | (d) Kamala Ibrahim Ishag |
| (e) 加藤泉 | (e) Kato Izumi |
| (f) 是恒さくら | (f) Koretsune Sakura |
| (g) 久保寛子 | (g) Kubo Hiroko |
| (h) 大小島真木 | (h) Ohkojima Maki |
| (i) セルマ & ソフィアン・ウイスイ | (i) Selma & Sofiane Ouissi |
| (j) panpanya | (j) panpanya |
| (k) シルビア・リバス | (k) Silvia Rivas |
| (l) 西條茜 | (l) Saijo Akane |
| (m) 佐々木類 | (m) Sasaki Rui |
| (n) ロバート・ザオ・レンフイ | (n) Robert Zhao Renhui |
| (o) 五十嵐大介(特別出品) | (o) Igarashi Daisuke(guest exhibit) |

豊田市

会 期 | **10.24 (金) - 26 (日)**
時 間 | 9:30 - 17:00
会 場 | **豊田市民芸館**
(第3民芸館、茶室勘桜亭、旧井上家住宅西洋館)
豊田市平戸橋町波岩 86-100
Tel: 0565-45-4039
名鉄三河線 平戸橋駅から徒歩15分



第3民芸館で、「あいち2025」のテーマ「灰と薔薇のあいまいな」をイメージしたお菓子とコーヒーのセットを販売します！



豊田市民芸館
Webサイト

ワークショップA



是恒さくら

「みつける!あつめる!民芸館のかたち」

豊田市民芸館のさまざまな民芸品や建物の形を写した型紙を使って、布を切り貼ります。いろんな形を重ねたり、言葉や絵を描き加えたりして、自分だけのランチョンマットを作ります。

日 時 | **10.26 (日) 13:30 - 15:30**
場 所 | 豊田市民芸館 工房1
対 象 | どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定 員 | 15名(要申込・先着順受付)

作品ガイドツアー

10.25 (土) ①11:00 - / ②14:00 - *所要時間各30分程度
集合場所 | 豊田市民芸館 第3民芸館(申込不要)

同時開催

鈴木繁男 手と眼の創作

10.11 (土) - 2026. 1.12 (月) 9:30 - 17:00
豊田市民芸館 第1民芸館、第2民芸館

民謡運動を主導した思想家、柳宗悦唯一の内弟子である鈴木繁男(1914-2003)。工芸や直観について柳から直々に学び、その感性は漆絵、陶磁器、装幀などに表現されました。本展では鈴木多彩な仕事をその蒐集品とともに紹介します。

アンチ・アクション

彼女たち、それぞれの応答と挑戦

10.4 (土) - 11.30 (日)

豊田市美術館

とよたまちなか芸術祭2025 Stereo

10.14 (火) - 10.26 (日)

旧豊田市近代の産業とくらし発見館、喜楽亭ほか

設楽町

会 期 | **10.31 (金) - 11.3 (月) 祝**
時 間 | 9:00 - 16:00
会 場 | **旧設楽町立田峯小学校**
北設楽郡設楽町田峯字下畑 9
新東名高速道路 新城ICから車で50分



会期中には、米麴を練り込んだソフトクリーム、酒粕を餌に食べ育った黒毛和牛の肉まん、お酒の仕込み水で淹れたコーヒーなどを提供する関谷醸造株式会社(設楽町)のキッチンカーが出店します！



設楽町
Webサイト

ワークショップB



浅野友理子

「灰で植物を描く!」

人の生活と関わりのある「灰」の文化について紹介しながら、数種類の灰のほか日本画の画材や技法を用いて、設楽町で採集した植物を描きます。顔料から絵の具を作る体験もできます。

日 時 | **11.2 (日) 13:30 - 15:30**
場 所 | 旧設楽町立田峯小学校 図書室
対 象 | どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定 員 | なし(申込不要 *材料がなくなり次第終了) 分程度)

作品ガイドツアー

11.3 (月) ①11:00 - / ②14:00 - *所要時間各30分程度
集合場所 | 旧設楽町立田峯小学校 図書館(申込不要)

お立ち寄りスポット

田峯城

戦国時代において奥三河一帯を支配した田峯菅沼氏五代の居城で、時代に翻弄された一族の痛ましい歴史の舞台でもあります。本丸ほかの遺構がよく残されており、現在は本丸御殿、本丸大手門、搦手門が復元されています。物見台から見下ろす眺望は一見の価値があります。

定 休 日 | 月曜、祝日の翌日、年末年始 (12.29 (月) - 1.3 (日))

住 所 | 北設楽郡設楽町田峯字城 9

お問合せ先 | 田峯城 Tel: 0536-64-5505

大府市

会 期 | **11.7 (金) - 9 (日)**
時 間 | 大府市歴史民俗資料館 9:00 - 18:00 (最終入場17:30)
大府市役所 平日 7:30 - 21:00 / 土日 8:00 - 21:00
会 場 | **大府市歴史民俗資料館**
大府市桃山町 5-180-1
大府市役所
大府市中央町 5-70
JR東海道線・武豊線 大府駅から徒歩10分



カフェ「KURUTOおふ」(大府駅構内)で、11.1 (土) - 12.7 (日)の間「あいち2025」のテーマ「灰と薔薇のあいまいな」にちなんだ特製ティラミス「ザクロと灰の香り」を販売します！



大府市
Webサイト

ワークショップC



札本彩子

「ステーキの付け合わせを考えよう!」

ステーキのように見えるコンクリート片を使った作品、《ステーキ岩》。その付け合わせとなる食べ物を、日用品からヒントを得て粘土でそっくりに仕上げます。

日 時 | **11.8 (土) 13:30 - 16:30**
場 所 | 大府市歴史民俗資料館 2F 会議室
対 象 | どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定 員 | なし(申込不要 *材料がなくなり次第終了) 分程度)

作品ガイドツアー

11.8 (土) ①11:00 - / ②16:00 - *所要時間各30分程度
集合場所 | 大府市歴史民俗資料館 1F ロビー(申込不要)

同時開催

アートオブリスト2025 ワタナベエイジ展
「Morning Monsters W. Eiji」

11.1 (土) - 12.7 (日)

大倉公園休憩棟、管理棟、庭園等

美術館のない大府市において、美術の可能性をまちなかに探るアートイベント「アートオブリスト」。10周年を迎える今年は、このプロジェクトの産みの親であるアーティスト渡辺英司が同姓同名のサイエンティスト(錯視研究者)渡辺英治との偶然の出会いを契機に展覧します。

住 所 | 大府市桃山町 5-74

お問合せ先 | 大府市文化交流課 Tel: 0562-45-6266

豊川市

会 期 | **11.14 (金) - 24 (月) 振替休日** *11.17 (月) は休館
時 間 | 9:00 - 17:00 (最終入場16:30)
会 場 | **豊川市桜ヶ丘ミュージアム**
(茶室「心々庵」、第2実習室、会議室)
豊川市桜ヶ丘町 79-2
Tel: 0533-85-3775
JR飯田線 豊川駅・名鉄豊川線 豊川稲荷駅から徒歩15分



出荷量が全国1位のバラの街、豊川市。その名産のバラを期間限定で観覧者に配布します！

実施日 | 11.15 (土) 及び16 (日)
対 象 | SNS等で本展をPRしてくれた方、各日とも先着75名



豊川市桜ヶ丘ミュージアム
Webサイト

ワークショップD



西條茜

「オリジナル埴輪を作ってみよう!」

豊川市桜ヶ丘ミュージアムで同時開催される埴輪の特別展「埴輪大相撲 豊川場所」にちなんで、焼かなくとも素焼きの質感が出る粘土を使って自分だけのオリジナル埴輪を作ります。

日 時 | **11.16 (日) 13:30 - 15:30**
場 所 | 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 第1実習室
対 象 | どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定 員 | 15名(要申込・先着順受付)

作品ガイドツアー

11.23 (日) ①11:00 - / ②14:00 - *所要時間各30分程度
集合場所 | 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 1F ロビー(申込不要)

同時開催

特別展「埴輪大相撲 豊川場所」

10.18 (土) - 11.30 (日) 9:00 - 17:00 月曜休館
豊川市桜ヶ丘ミュージアム 第1~3展示室(有料)

埴輪といえは踊る埴輪や武人埴輪が有名ですが、じつは力士の格好をした埴輪もあって、豊川市内からも出土しています。本展では、全国各地の力士埴輪を一堂に集めて展示します。名付けて「埴輪大相撲 豊川場所」。

ワークショップのお申込方法

*8.27 (火) 受付開始

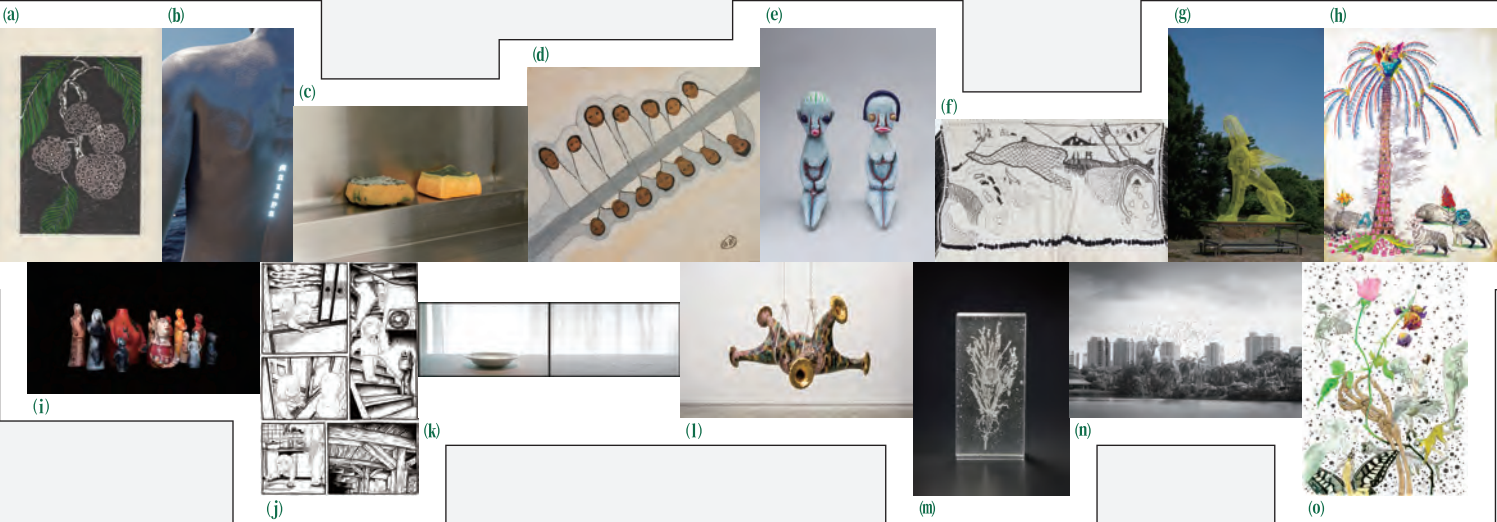
国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局 ポップ・アップ!係(triennale@pref.aichi.lg.jp)までメールに次の内容を記載してお申込みください。

■件名 「巡回展示「ポップ・アップ!」ワークショップ参加申込」

■本文 ①ワークショップの記号(AまたはD) ②参加者の氏名 ③参加者の年齢 ④保護者氏名(参加者が小学生以下の場合のみ) ⑤メールアドレス ⑥電話番号 ⑦お住まいの地域(市区町村まで)

県内4つの市町を巡る「ポップ・アップ!」は、国際芸術祭「あいち2025」に参加する14組のアーティストの作品による移動型の展覧会です。個性豊かな会場で、「あいち2025」のエッセンスをご紹介します。さらに、ワークショップやガイドツアーなど、誰でも気軽に楽しめるイベントやプログラムが盛りだくさん。五十嵐大介による「あいち2025」キービジュアルの原画も特別に展示します。ぜひ会場に足を運んで現代アートを体感してみてください！

会場 Exhibition Venues



(a) 浅野友理子《葉草の木版画 トチノミ》2020 木版画(墨、手彩色) (b) ブリヤギータ・ディア《海は青い記憶》2022 シングルチャンネル・ビデオ (c) 札本彩子《モシャス(かばちゃんの変物)》2023 アトリエで使用していたスポンジ/アクリル、樹脂粘土 (d) カマラ・イブラヒム・イシャダ《灰と人々》2024 アクリル、キャンバス (e) 加藤泉《Untitled(無題)》2004 アルミニウム、ウレタンペイント Courtesy of the artist © 2024 Izumi Kato 撮影| Kei Okano (f) 是恒さくら《原画朝顔》ありふれたくじらジャーナル:牡鹿半島〜太地浦》2017 糸 撮影| 根岸功 (g) 久保寛子《黄色いスフィクス(座像)》2024 鉄、防風ネット (h) 大小島真木《(ウオルド)原画》(部分) 2009 ベンシル・カラーペンシル・水彩・アクリル、紙 (i) セルマ & ソフィア・ウイス《(ラール・リュ)陶人形コレクション-ラアルーサーアート・コレクティブによるコミュニティスペースのための制作(2011-2013)》2011 陶 (j) paanpanya《海の家》(7/8ページ)単行本「商店街のあゆみ」2022島取 (k) シルビア・リバス《迫りくる舌》2014 2チャンネル・ビデオ (l) 西條茜《甘い共鳴-Sweet resonance-》2021 陶 佐々木類《植物の記憶/忘れの庭-露目日の草が生い茂る影にて-》2022 ガラス、植物 撮影| 米田猛 画像提供| アートコートギャラリー (m) ロバート・ザオ・レンフイ《そして大いなる兆候が表れた》2021 シングルチャンネル・ビデオ Courtesy of the Artist and ShanghART Gallery (n) 五十嵐大介(特別出品)《今も灰は降り続き 薔薇の周りを幽霊たちが舞う》(国際芸術祭「あいち2025」のためのキービジュアル原画) 2025 インク・水彩、紙 Copyright © 2025 Daisuke Igarashi All Rights Reserved.

*掲載作品は巡回展示「ポップ・アップ!」出品作品とは異なる場合があります。